

令和3年度 事業報告

1 概況

令和3年度の大田区シルバー人材センター（以下、「当センター」）の事業運営は、年度当初に新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が都内に発出されたこともあり、前年度に引き続き就業活動の縮小や地域活動等の休止を余儀なくされました。

夏以降は感染拡大に一定の歯止めがかかり、9月末をもって都内への緊急事態宣言が解除され、経済活動も徐々に回復基調となったことから、各種事業活動の再開に向けた検討や準備を進めました。しかし、昨年末以降、感染力の強い変異株であるオミクロン株により再び感染拡大が進み、本年1月には都内にまん延防止等重点措置が公示されたことから、当センターにおいても社会情勢に合わせた事業運営を余儀なくされました。

そのような中であって、事業については、コロナ禍により目標年次を1年延長した第2次中期計画の5項目の基本方針を踏まえ取り組みました。また、感染防止対策を十分に行った上で、入会説明・登録会は参加人数を絞って開催するなど、会員増強にも取り組みました。

これらの結果、請負・委任業務においては、学校施設業務の段階的終了など公共部門からの受注縮小の影響もありましたが、シルバー派遣業務に関しては民間事業者からの新規受注が堅調だったこともあり、両者を合計した契約金額は973百万円と前年度を上回りました。会員数については、全国的なシルバー人材センター会員数の減少傾向が続く中、当センターも、前年度比70人減の3,026人となりました。

このような中、第2次中期計画に代わる第3次中期計画の策定に向け、策定委員会を設置し6回にわたり検討を進め、2月に開催された理事会において「第3次中期計画」が承認されました。この中期計画では、社会の変革が進む中で、地域社会における当センターの存在感を高めるために、センターの活力の源泉となる会員の人的力（人材力）を高める取り組みを重要な施策の一つとして位置づけ、5点の重点項目を計画の柱としました。令和4年度からは、この計画に基づいて事業活動を行ってまいります。

2 第2次中期計画の基本方針

- (1) 就業拡大と会員増強
- (2) 健康・安全の促進
- (3) 高齢者の交流促進と生きがいづくり
- (4) 健康、環境、教育、子育て各分野における重点的促進
- (5) 会員・職員の資質の向上

3 令和3年度の事業実績

<令和3年度の目標数値と実績>

項目	目標数値	実績
会員数	3,400人	3,026人
契約金額(請負・委任)	982百万円	831百万円
契約金額(派遣事業)	90百万円	142百万円
契約金額(合計)	1,072百万円	973百万円

<会員数及び契約金額(請負・委任)の年度別一覧表> (単位:人、千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会員数	3,173	3,191	3,114	3,096	3,026
契約金額	1,001,302	944,842	919,233	836,766	831,202

<令和3年度シルバー派遣事業の実績>

項目	派遣実人員	派遣就業 延人員	派遣総賃金	事業所(センター) 事務委任手数料(税込)
派遣事業	360人	24,221人日	108,805千円	16,202千円

4 事業の重点目標及び事業実施報告

(1) 就業開拓の強化による受託事業の拡大

- ① 大田区、大田区いきいきしごとステーションやハローワーク大森と連携を図りながら、就業開拓の強化に努めました。
- ② 就業開拓員4名が、業種のターゲットを絞って区内事業者を順次訪問するなど、受注拡大を図りました。
- ③ 就業開拓員1名と就業開拓推進業務委託契約を締結し、当センターが提供する会員情報の分析、ハローワークを訪問し求人情報を取得する業務等を委託しました。
- ④ 入会時に取得した会員の資格や経験をデータベース化し、発注相談があった際にすみやかなマッチングに活用しました。
- ⑤ 当センターへの発注があった時に、請負・委任担当職員と派遣担当職員が連携しワンストップで顧客対応できる体制を整えました。
- ⑥ 11月に、大田区いきいきしごとステーション主催の合同就職面接会に出展しました。
- ⑦ 区内企業の動向調査や当センターのPRのために、東京商工会議所大田支部や複数の信用金庫と意見交換をし、連携を強化しました。
- ⑧ 10月に、就業拡大のための方策等について他団体の動向を調査するために、横浜市シルバー人材センターの訪問調査を実施しました。

(2) 会員の増加に向けた取り組み強化

- ① コロナ禍のため、会員の駅頭チラシ配布による会員募集活動は1年間休止しました。
- ② 引き続き広報誌を年12回、総合パンフレットは年1回、大田区特別出張所等関連施設へ設置しました。
- ③ ホームページに会員の就業の様子を撮影した動画を掲載し、より分かりやすくセンターをPRしました。
- ④ 主要全国紙等への新聞折込チラシ広告を年4回実施し、会員募集のPRをしました。
- ⑤ 入会説明・登録会については、実施時間の短縮や参加者数の制限など新型コロナウイルス感染拡大防止策を継続しつつ実施しました。2月からは、より直感的にセンター活動を理解してもらうべく動画の活用を開始し、内容の改善を図りました。
- ⑥ 入会希望者の利便性を高めるとともに入会説明会の効率化を図ることを目的に、Web入会の導入に向けた検討を行い、令和4年4月実施に向けて準備をしました。
- ⑦ 非会員向けに保育補助の講習会を年2回開催し、会員登録を促しました。
- ⑧ 東京しごと財団主催の「整理収納セミナー（10月）」「網戸の張替え講習会（2月）」「窓ガラス清掃講習会（3月）」を非会員向けに開催し、会員募集のPRを行いました。
- ⑨ 区内3拠点（こらぼ大森、調布分室、蓮沼分室）で週1回、本部で月1回開催していた「シルバーサロン」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1年間休止としました。
- ⑩ 2月に、広報の新たな手段として、LINE広告を2週間実施しました。

(3) 安全就業及び適正就業の徹底

- ① 年間計画に基づき、適正・安全委員による安全パトロールを毎月実施し、委員会において報告の上、要改善事項があれば就業会員に伝達しました。
- ② 就業会員に対し危険予知（KY）の徹底を図るため、安全就業基準の他、危険予知のテキストを活用しました。
- ③ 広報誌「いきいき人生」に、毎月テーマを定め、会員の安全就業を啓発するための記事を掲載しました。
- ④ 会員の事故件数減少のため、年1回ヒヤリハット事例情報を収集し、適正・安全委員会で内容を分析したのち、会員にフィードバックしました。
- ⑤ 区内警察署や東京しごと財団等が主催する講習会に、会員や適正・安全委員が参加しました。
- ⑥ 体力測定会は、年2回計画しましたが、コロナ禍により開催を中止しました。12月に区内事業所と共催で「健康運動教室」を実施し、34名が参加しました。
- ⑦ 会員が自己の健康管理を徹底し、体調不良を理由とする退会等を少しで

も防止するため、毎年実施している健康診断受診調査について公共業務に就業する会員は提出を必須とする方針を継続しました。

- ⑧ 請負・委任契約の新規案件について、適正就業の観点から現場訪問を実施するなど、適正な運営を行いました。

(4) 研修・講習事業及び調査研究事業の拡充

- ① 会員開発委員会主催の接遇・安全研修など、会員対象の集合型研修については、新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため、開催を休止しました。マンション清掃研修や一般清掃研修については、人数制限を設けたうえで実施しました。
- ② 5月と11月に、除草作業の体験就業を実施しました。
- ③ 9月に、家庭や企業などの発注者に対して「お客様向け調査」を実施し、結果を基に業務の改善を図りました。
- ④ 2月に、広報委員及び事務局職員向けに「広報撮影のための写真講座」を実施しました。
- ⑤ 研修体系を見直し、令和4年度からの実施に向け検討しました。

(5) 普及啓発事業の拡充

- ① 広報誌を年12回発行し、センター事業のPRを図りました。
- ② 10月に、センター事業のPRを目的とした「展示会」を開催し、同時に会員が制作した作品を展示しました。
- ③ 1月17日から21日まで、区役所本庁舎3階にて「展示会」を開催し、広報委員会が作成したパネル展示を中心に区民へPRしました。
- ④ 1月31日から2月15日まで、保育補助業務就業会員募集ポスターを、区内30駅（JR2駅、東急・京急28駅）に掲出し、会員増強を図りました。
- ⑤ 区役所本庁舎のインフォメーション広告など多様な広告手段を活用して、センター事業の普及啓発活動に取り組みました。
- ⑥ ホームページに動画コンテンツを複数掲載して、会員及び非会員、発注事業者に対する情報発信を強化しました。
- ⑦ 蒲田法人会の会員に対し、センターの広報誌を配布しました。

(6) 社会奉仕活動の推進

- ① コロナ禍で大田区や地域団体主催のイベントが中止となったため、運営補助等のボランティア活動は1年間休止としました。
- ② シルバー農園菜園ボランティア活動については、屋外で参加人数を絞った活動を行い、10月29日には大田区立くすのき園の利用者との共同でさつま芋の収穫祭を行いました。
- ③ 環境美化活動は、3月に、一部のブロックが実施しました。

(7) 事業運営の安定化と効率化の徹底

- ① 国の補助金や区からの委託事業などを有効活用し、シルバー派遣事業等を着実に実施しました。
- ② 文書管理システムを活用した起案・收受文書等の電子化により、事務処理の効率化を図りました。
- ③ 東京しごと財団が主催する動画配信方式の研修等に会員、職員が多数参加し、各人の資質向上を図りました。
- ④ 令和4年度(2022年度)から令和6年度(2024年度)を計画期間とする第3次中期計画策定委員会を設置し、計画策定作業に取り組みました。

5 会員の状況

入会説明・登録会は、コロナ禍により少人数での開催を継続しました。入会者は14人増加しましたが、退会者も66人増となりました。会員数は70人減少し、平均年齢は0.1歳増となりました。

項目	令和3年度末	令和2年度末	前年度比	
会員数	3,026人	3,096人	70人減	97.74%
男性	1,757人	1,797人	40人減	97.77%
女性	1,269人	1,299人	30人減	97.69%
会員の平均年齢	75.0歳	74.9歳	0.1歳増	
男性	75.6歳	75.6歳	増減なし	
女性	74.2歳	74.1歳	0.1歳増	

<令和3年度末の入退会者数は以下のとおり>

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
入会者数	457人	443人	14人増	103.16%
退会者数	527人	461人	66人増	114.32%

6 事業の実績

(1) 請負・委任事業における受注件数と契約金額

令和3年度末の受託件数・契約金額(請負・委任)は、下表のとおりです。「公共」と「民間」の契約金額の比較は、「公共」54.05%(前年度55.17%)、「民間」45.95%(前年度44.83%)、前年度比で「民間」が1.12ポイントの増加となりました。

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受託件数	17,196件	16,281件	915件増	105.62%
公共	3,665件	3,659件	6件増	100.16%
民間	13,531件	12,622件	909件増	107.20%
契約金額	831,202千円	836,766千円	5,564千円減	99.34%
公共	449,242千円	461,618千円	12,376千円減	97.32%
民間	381,960千円	375,148千円	6,812千円増	101.82%

(2) シルバー派遣事業における受注件数と契約金額

シルバー派遣事業は、令和3年度に6年目を迎えました。保育園等での保育補助業務やスーパー店舗での各種補助業務、選挙関連業務に加え、新たに工場での組み立て業務、障がい者施設での軽作業、福祉施設での調理補助業務等を受注しました。着実に実績を積み重ね、令和3年度の契約金額は前年度比で131.57%でした。

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受託件数	191件	152件	39件増	125.66%
契約金額	141,554千円	107,589千円	33,965千円増	131.57%

(3) 年間就業実人員

令和3年度の請負・委任就業実人員は1,637人で令和2年度の1,603人と比べ、34人増加しました。なお、シルバー派遣事業のみで就業する会員が249人おり、シルバー派遣事業を含めた就業実人員は1,886人となりました。

(4) 年間就業率

令和3年度の年間就業率は54.10%となり、前年度から2.32ポイント増加しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は62.33%となり、前年度から3.51ポイント増加しました。

※ 就業率：全会員中どれくらいの人が就業したかを示す数値

7 その他の事業実績

(1) 相談事業

原則月3回実施した入会説明・登録会では、「大田区いきいきしごとステーション」の紹介も行い、入会に際して多様な働き方の提案をしました。また、就業に関する相談については、本部及び蒲田分室で随時実施しました。

(2) 独自事業

① 和・洋服のリフォーム

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受注金額	2,266千円	2,205千円	61千円増	102.77%

② 着物の着付け

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受注金額	240千円	255千円	15千円減	94.12%
件数	43件	41件	2件増	104.88%

③ カルチャー講座

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受注金額	55千円	9千円	46千円増	611.11%

(3) 高齢者作業所

「こらぼ大森」の作業室で部品の組み立て・包装作業を実施しました。受注金額は、2,365千円、前年比で108.54%となりました。

(4) 家事援助・子育て支援事業

コロナ禍のため「家事・子育て事業説明会」の開催は中止し、家事援助・子育て支援の就業希望者には、コーディネーター5名により就業の仕組みや内容を個別に説明し、就業につなげました。家事援助就業会員向けの、研修を含めた会員同士が気軽に話せる場所「かこサロ」はコロナ禍のため引き続き中止となりました。

家事援助サービス及び子育て支援サービスの受注金額は27,872千円で、前年度比110.52%となりました。

(5) ちょこっとサービス

65歳以上の高齢者世帯を対象に、ごみ出しや電球交換などの日常の簡単な作業を代行するサービスを行いました。

項目	令和3年度	令和2年度	前年度比	
受注金額	373千円	268千円	105千円増	139.18%
件数	109件	37件	72件増	294.59%

8 附属明細書

令和3年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の附属明細書」として記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。